

工大広報

2016年8月1日発行(年4回発行)

No.282

Summer 2016

2016年8月1日発行
(年4回発行)

新学長紹介

学科名称変更:知能エレクトロニクス学科が
「電気電子工学科」に生まれ変わります
工大生100人に聞きました



経営コミュニケーション学科 佐藤 飛鳥研究室: 地元企業が開発した「粘紙絵の具」を描き易くするチューブを選定中

一人ひとりの能力を引き出し、育てて 社会に送り出して50年。 これからもその道を歩みます。

学長 **今野 弘**

本学の卒業生です

平成28年4月より学長を拝命いたしました今野弘と申します。
大学のホームページに略歴が掲載されておりますが、簡単に自己紹介をさせていただきます。

昭和42（1967）年4月に東北工業大学土木工学科に入学した本学の卒業生です。現在まで、大学院時代や当時の国際協力事業団（JICA：現在の国際協力機構）から派遣されて大学を離れた期間を除き、永く東北工業大学に勤めてきた者として責任の重さを痛感しております。もとより微力ではありますが、本学の発展に少しでも寄与できるように努めます。

東北工業大学は、各個人の能力を引き出して 社会に送り出します

本学には、入学から卒業まで、「学士力」養成への3つのポリシー（入学者選抜ポリシー：A・教育ポリシー：E・卒業ポリシー：G1）と、生きる力向上への「総合的人間教育」を目的とした学生指導ポリシー：G2を掲げて、AEGGポリシーと呼び、全教職員および関係者が学生をサポートする環境を整えています。

A：入学者選抜ポリシーにより、本学は多様な能力を判断し入学者を選んでいます。

学力ばかりでなく、たとえばある専門分野の秀でた能力、高校までの活動や総合力評価などにより、入学者を選抜しています。天才的な人間は稀です。社会は各人の各能力の集合と協力によって成されることが多いという認識のもと、一人ひとりの能力を認め、それを高めるように育てていきます。

E：教育ポリシーにより、社会人としての能力（学士力）を付与するための科目、教材や方法を工夫しています。

聞き取りや思考をめぐる講義系の科目、現象の観測や協力して作業をしながら分析や論理を展開する実験、実習系の科目、それら双方で理解度を高める演習系の科目、教材は実務的課題を多く取り上げ、学内外での学生同士や教員とのやりとりはもとより、非常勤教員として企業や卒業生の実務者や地域で活動している方を招聘して学生を育てます。

G1：卒業ポリシーにより、研修の重点化により学士力や総合力の向上を図ります。

研修は、いろいろな視点から課題を見つけ出し、その解決策あるいは結論を導くために、作業の準備その順番などの全体計画を策定し、自分と周りの友人、関係者、教員と討議を



重ねるプロセスを意味しています。研修は、個人の培った知識、経験、ひらめきなど知性と感性の醸成とともに、周りとの協力することで相乗的に成長させる教育手段です。

G2：学生指導ポリシーにより、社会の一員、職業人としての意識を醸成します。

本学で培った能力を活かす将来の舞台、その環境を探り当てるために、早くからキャリア教育を実施します。本学教職員のほか卒業生や企業人、地域社会や父母の方と強い連携体制を構築しています。その中で社会の一員、職業人としての意識も醸成されます。各種の課外活動やインターンシップ活動は、その大きな要になっています。

「東北地方の産業界で指導的役割を担う技術者の育成」という建学の精神をこれからも実践します

本学は2014年に開学50周年を迎えました。これまで3万4千余の人材を輩出してきました。建学の精神が示すように、東北地方から95%以上が本学に入学し、卒業生の多くは、地域の活性化や産業振興のために、震災復興はもとより、社会の産業や人々の豊かさ貢献する活動をしてきました。

卒業生は、どこの地域にも溶け込んで、外国人やほかの地域の方とも協力して活動できる感性と人間性を備えていると評価されていることは、本学の誇りです。

「電気電子工学科」に生まれ変わります。

知能エレクトロニクス学科は、平成29年4月から、「電気電子工学科」に生まれ変わります。特に東日本大震災以降、重視されるようになったエネルギーを支える「電気工学」。あらゆるものにマイクロコンピュータが組み込まれている現在、それを支える「電子工学」。時代のニーズに合わせ、そのどちらも学ぶことができるという学科の特色をアピールするため、新しい学科名に変更します。安全で便利な社会の維持と将来の発展には、電気電子工学を学んだ技術者が不可欠なため、この分野の人材を求める産業界の要請はとても高い状況です。当学科では電気電子工学の基礎から応用までをしっかりと修得できるように、少人数・習熟度別クラスを採用。1年次から充実したキャリア教育を行い、平成23年度から5年連続就職率100%を達成しています。また、より実践的な専門知識と技術を身につけることができる魅力的な3つの専門分野の系を設置しました。



電子機械・ロボット系

(現:知能システムコース)

災害や介護福祉の現場で活躍するロボットの研究

ロボットや電子機械を知的に動かすための技術を学びます。特に、マイクロコンピュータ、制御、センサ、プログラミングなどの専門知識と技術を身につけます。それらを活用して、災害現場にて瓦礫処理や探索活動を行うロボット、高齢者や体の不自由な方の生活支援機器などのメカトロシステム、失声者のための音声合成システム、さらに情報化社会に対応したウェアラブル端末などに関する実践的な研究を行います。

医工学・バイオ系

(現:知能センシングコース)

電気電子工学を応用した医用診断技術の研究

計測と制御、情報処理技術を学びます。特に、医学・生命科学と電気電子工学の融合した生体医工学分野の研究を通じ、生体計測、微弱信号処理、画像・情報処理技術を身につけます。光による生体画像計測、脳やiPS細胞由来ニューロンの生体電気信号計測、細胞呼吸活性の電気化学計測、および生体情報処理など、最先端の生体計測・信号処理技術とその医療・バイオ分野への応用の研究を行います。

光・情報デバイス系

(現:知能デバイスコース)

情報化社会を支える光・情報デバイスの研究

現代の社会を支える電気電子部品に関する技術を学びます。ものづくりを通して、半導体デバイスの原理や材料から回路技術まで電子デバイスに関する幅広い専門知識を身につけます。さらに光学素子、テレビの液晶モニターなどの表示素子、放射線検出デバイス、ナノテクノロジーを用いた次世代情報デバイスなどに関する最先端の研究を行います。

サポートする資格

資格取得のためのガイダンスや資格試験の対策講座を開講して支援します。

基本情報技術者／電気工事士（第1種、第2種）

ITパスポート／電気通信主任技術者／技術士／公害防止管理者／電気主任技術者／電気工事施行管理技士

研究者早期育成プログラム

2、3年次から将来の研究者を育成することを目的とする、本学科独自の課外活動です。自然科学をテーマに文部科学省のサイエンス・インカレへの出場を目指して、教員の指導の下で研究を行うことができます。



学科名と略表記／E：知能エレクトロニクス学科／T：情報通信工学科／A：建築学科／C：都市マネジメント学科／K：環境エネルギー学科／CD：クリエイティブデザイン学科／SD：安全安心生活デザイン学科／MC：経営コミュニケーション学科

専攻名と略表記／E：電子工学専攻／T：通信工学専攻／A：建築学専攻／C：土木工学専攻／K：環境情報工学専攻／D：デザイン工学専攻

※氏名の後の（ ）内は出身地

1年生
VOICE

Q 大学生になって変わったことは？



- ・高校のときはと違って自分の得意科目を選び、授業する教室も違うことです。
- ・自由時間が増えたので、どうすれば有意義に使えるか考えるようになりました。
- ・大学生になってから、何かを生み出すために勉強しようという心構えになりました。
- ・私は他人の意見をしっかりと聞き、自分の意見に反映させることの大切さを知りました。
- ・一人暮らしをはじめ自分の自由に使える時間が増えました。
- ・家に帰ってから予習復習をしないと授業についていけなくなりました。
- ・全てが自由に選択できる分、自分の行動に責任が持てるようになりました。
- ・想像してたより毎週課題があって、アルバイトとの両立も高校より大変になりました。
- ・授業と授業の間に時間がある日があるので、趣味に多く時間を使うようになりました。
- ・一番は生活リズムが変わったことです。早くこの環境に慣れるように日々頑張っています。
- ・全てにおいて自己決定が求められるので、高校の時に以上に管理・決断力が上がりました。
- ・一人暮らしをはじめ、今まで以上に自己管理に気を遣うようになりました。
- ・自由な時間が増えた分、自分で時間を管理しなければいけないという意識が強くなりました。
- ・授業時間や勉強の難易度の変化がとても大きく大変です。
- ・一コマ目がある日はとても憂鬱です。
- ・自由な時間が多いので、その分趣味、家事や買い物に費やす時間が大幅に増えました。
- ・春から一人暮らしをはじめたので、生活能力が向上したと思います。
- ・あらゆることをテキパキとするようになり、時間の節約を図るようになりました。
- ・縛られるものが減り、自由になったと感じます。
- ・バイトや部活などがあるため一日一日のスケジュールを考えなければならなくなりました。
- ・高校の時の男女の割合が逆になったことです。
- ・大学生になり一人暮らしをすることで生活の環境が変わりました。家事がとても大変です。
- ・受ける講義によって登校時間がバラバラなので毎朝起きる時間が違うことです。
- ・一人暮らしは大変ですが、今までなかった自立心が強くなったと感じています。

E 小林 由佳 (秋 田)
E 佐々木聖哉 (宮 城)
E 大島 悠 (宮 城)
T 戸枝 拓己 (宮 城)
T 千葉 裕太 (福 島)
T 田原 成起 (奈 良)
A 菊池 茉奈 (宮 城)
A 平間 美代 (宮 城)
A 吉田 広弥 (青 森)
C 伊藤 良成 (宮 城)
C 尾崎 文香 (宮 城)
C 林 佳菜 (新 潟)
K 伊藤 幸大 (岩 手)
K 尾畑 敦也 (宮 城)
K 岡本 佑介 (青 森)
CD 三浦 勇輝 (宮 城)
CD 山口歩乃佳 (福 島)
CD 佐藤 良祐 (宮 城)
SD 小林 雪重 (北海道)
SD 岩本 侑樹 (宮 城)
SD 小関みさと (宮 城)
MC 阿字 直樹 (福 島)
MC 石井 周 (宮 城)
MC 伊藤 早咲 (山 形)

2年生
VOICE

Q 今、一番気になることはなんですか？



- ・将来の就職について気になります。どのようにして就職先の候補を決めるのでしょうか。
- ・10年後、スマホに変わる携帯端末やウェアラブル端末はどういった形態をしているのか？
- ・工学部の女子の人数と、全体の割合は何%くらいであるのか、数値が気になります。
- ・学生証読取器が新しくなってから反応が悪くなり、イライラが募るばかりです。
- ・シャトルバスの本数の少なさです。
- ・八木山キャンパスの1号館のパソコンの使用率。
- ・ゆうちょ銀行でお金を下ろしてみても、手数料で今までいくらく無駄になったのか。
- ・一眼レフカメラでキレイな写真を撮る方法が気になります。
- ・友だちが立て続けにバイクで事故を起こしたので、バイクの事故が気になります。
- ・熊本地震。最近は震災のニュースを見る回数が減ったので今の状況が気になります。
- ・熊本の地震についてです。自然災害は土木に関係のあることなので気になっています。
- ・新しくできた後輩たちを引っ張っていくにはどのようにすればいいのかということです。
- ・私が気になることは、北朝鮮の核問題です。非核化実現と述べていたのが気になります。
- ・子ヤギの名前です。友だちと考え良い名前を思いついたので採用されていたら嬉しいです。
- ・私が気になることは、工大でどんな所にインターンシップに行けるのかです。
- ・植物(花類)のイラストをどのようにして人物画に組み込むかです。
- ・ティズニーやピクサー映画です。ズートピアが見たいです。
- ・将来就職するにあたっての、仕事内容や、給料、勤務地の情報です。
- ・来月行く予定の東北六魂祭が楽しみです。今から気になって気になって仕方ないです。
- ・健康生理学概論で学んだ、スポーツの大事さが気になっています。
- ・一日何も予定が無い日に限って、半日寝て過ごして無駄にしてしまうことです。
- ・私は一番気になることは、学費が高すぎると思います。
- ・とにかく筋トレです。
- ・スケートボードをはじめるので、上手く乗るためのコツです。

E 畑中 涼 (宮 城)
E 野地 修平 (佐 賀)
E 佐藤玲央南 (宮 城)
T 野田頭 俊 (青 森)
T 小原 一輝 (宮 城)
T 掛野 将央 (長 野)
A 後藤 春希 (秋 田)
A 岩沢 怜里 (宮 城)
A 吉田 鷹介 (宮 城)
C 大槌 彩奈 (宮 城)
C 小野田菜摘 (山 形)
C 中林 果歩 (宮 城)
K 門間 一樹 (宮 城)
K 松田千加子 (山 形)
K 皆川 大地 (福 島)
CD 熊谷 陸 (宮 城)
CD 伊藤 結子 (宮 城)
CD 石橋 雅哉 (宮 城)
SD 山道 彩 (青 森)
SD 安田 翔平 (青 森)
SD 結城 梨奈 (福 島)
MC 黄 嬌敏 (中 国)
MC 渋谷 恵三 (宮 城)
MC 沼畑 侑里 (宮 城)

3年生
VOICE

将来の目標はなんですか？



A

- ・ 誰にでもできる事ではなく、自分にしかできないような職に就くことです。
- ・ 就職し仕事を続けながら趣味を楽しみつつ新しいことにも挑戦していきたいです。
- ・ 今までやってきた音楽に加え、バイクや旅行などの新しい趣味を充実させることです。
- ・ 明確な職種は決めていませんが、今は資格取得に力を注ぎ納得の就職にすることです。
- ・ まだ明確には定まっていませんが、思い描いたものを形にする力をつけることです。
- ・ 私の将来の目標は、システムエンジニアになり、プログラムに携わる職に就くことです。
- ・ 設計、都市開発など街をつくる仕事のプロとして活躍することです。
- ・ 建築を通して自然災害の研究をし、これからの防災まちづくりに貢献することです。
- ・ 住宅についてもっと詳しく説明できる人になって、住宅展示場で働きたいです。
- ・ 地元の建設会社に就職し、本学で学んだことを活かして地元の発展に尽力したいです。
- ・ 現在勉強している土木工学の仕事に携わり、日本の基盤を支えていきたいです。
- ・ 地元で貢献できるような大人になりたいと思っています。
- ・ 正直、今の目標はありませんが、この学科でしか学べないことを活かしたいです。
- ・ 将来的には身につけた技術を使って、生まれ育った町に貢献したいです。
- ・ やりがいのある仕事に就き、誇りをもてるような有意義な生活を送ることです。
- ・ レシピを見ずにおいしい煮物を作れるになりたいです。
- ・ イラストを描く仕事に携わることです。できれば仕事が多くなりすぎない程度が良いと考えます。
- ・ 自分自身で納得のゆく生活を送ることです。
- ・ 安定した生活を営めるような仕事に就きたいと思っています。
- ・ 海外渡航経験からグローバルを意識しているのでさまざまな国の人との交流を広げたいです。
- ・ お金を貯めて宇宙旅行へ行くことです。
- ・ 将来、宮城県内の企業に就職して地元の特産品を活用した商品を開発したいです。
- ・ 名前の由来のように、創造力豊かで誰からも愛されるような人になりたいです。
- ・ 卒業したら、日本で数年間働いて、中国に帰って、自分のやりたいことをやるつもりです。

E 石橋 勇人 (宮 城)
E 松崎 優子 (岩 手)
E 岡部 美穂 (青 森)
T 藤井 達陽 (岩 手)
T 銭谷 英李 (宮 城)
T 今野 大輔 (宮 城)
A 小比類巻洋太 (青 森)
A 斎藤 彩加 (岩 手)
A 坂田 朱音 (宮 城)
C 川村 翔 (青 森)
C 大竹 司真 (新 潟)
C 梁田 誠実 (宮 城)
K 五十嵐賢也 (宮 城)
K 水戸 研佑 (岩 手)
K 吉村 留依 (山 形)
CD 星 由希子 (宮 城)
CD 最上 翔太 (宮 城)
CD 蛇石可奈子 (福 島)
SD 加藤 早紀 (宮 城)
SD 今川可南子 (青 森)
SD 石井 隆居 (宮 城)
MC 大場 遼太 (宮 城)
MC 奈良 円稚 (宮 城)
MC 潘 立龔 (中 国)

4年生
VOICE

後輩にひとこと言うとすれば？



A

- ・ 資格試験、特に大学で薦められているものには積極的に挑戦すると良いと思います。
- ・ 自分の将来のビジョンをイメージしながら今後の学生生活に励んでいってください。
- ・ 勉強やバイト、部活動も大事ですが、友人関係を大切に、たくさん遊んでください。
- ・ 学業以外にも視野を広げ、興味が湧く事を模索することが大切だと思います。
- ・ 学生生活を有意義に過ごせるように、今のうちに単位を取っておくことをおすすめします。
- ・ 学外活動をしないと履歴書と面接で詰みます。教養単位は必要以上取らないでください。
- ・ 今、怠けたら先の可能性はなくなっていくと思います。思い立ったら即行動に移そう！
- ・ 遊ぶことも大切ですが、自分の選択した専門分野にきちんと取り組むことが大切です。
- ・ さまざまな活動にチャレンジすることで自分の経験になるだけでなく楽しい生活が送れます。
- ・ 大学生活は、あっという間ですから一日一日を大切に過ごしてください。
- ・ いろいろ見て感じ取ってください。学生の時にしかできないことがたくさんあるはずですよ。
- ・ 工大は、良い先生や先輩がたくさんいるので、困ったときはすぐに相談するといいです。
- ・ 自己分析を多めに行うといいと思います。自分の考えがまとまらないうと上手く行きません。
- ・ 単位はきちんと取らないと後で困ります。
- ・ 社会人になるためのマナーや知識を大学生のうちに身に付けておいた方が良いでしょう。
- ・ 学校、バイト、遊びのバランスを見極めて有意義な4年間を送ってください。
- ・ 旅行とかバイトとか勉強とか、とにかく楽しんで悔いのない学生生活を送ってください。
- ・ 人生で自由に使える時間は大学時代です。さまざまなものに挑戦し、自分を磨いてください！
- ・ よく遊び、よく学ぶ。好きなことを思い通りできる期間なので楽しんでください。
- ・ やってみると予想外に面白いことがたくさんあるので、少し勇気を出して挑戦してみてください。
- ・ どんなに天気が悪くても大学にはちゃんと行ったほうが良いです。
- ・ 今はできないことを精一杯楽しもう！自分の行動次第で大学生活が変わります。
- ・ 日頃の言動は必ず就活に関わってきます。自分の現状を見つめ直してみてください。
- ・ 楽しそうとする考えは捨てましょう。苦しみ乗り越えてこそ、人は成長できるのです。

E 佐藤 望美 (宮 城)
E 菊地 毅 (岩 手)
E 飯田 拓也 (青 森)
T 本間 舜 (宮 城)
T 渡邊 佑太 (宮 城)
T 免田健太郎 (宮 城)
A 王木 浩幸 (宮 城)
A 小笠原玲子 (宮 城)
A 阿部 野花 (山 形)
C 小野 智樹 (宮 城)
C 白幡 朋也 (宮 城)
C 菅原 直輝 (宮 城)
K 荒明 柚紀 (福 島)
K 浅倉 優汰 (宮 城)
K 大越 大 (宮 城)
CD 針生 棕平 (宮 城)
CD 藤枝千咲子 (宮 城)
CD 堀 翔子 (宮 城)
SD 高橋 泰成 (宮 城)
SD 大寺 未華 (北海道)
SD 小川 曉継 (岩 手)
MC 阿部 巧 (宮 城)
MC 阿部 祐己 (青 森)
MC 根元 亨輔 (宮 城)

大学院生
VOICE

学部との違いはなんですか？

A

- ・ 自分の好きなロボット分野についてより深く勉強できるので、毎日が楽しいです。
- ・ 学会など具体的な目標や期限があるため時間の管理や計画性がより重要となります。
- ・ 少人数での授業なので、より掘り下げた内容を学ぶことができます。
- ・ 学部と違って少人数制なので、教授から直接指導を受けることになります。
- ・ 講義で学ぶ内容に専門性が増し、学会発表など外部交流が多くなり研究に専念できます。
- ・ 知識を知恵へとするために、自ら考え発信する場所が大学院だと思います。

E 佐々木大雅 (宮 城)
T 高谷 峻弘 (青 森)
A 黒川 慎朔 (宮 城)
C 菅原 命士 (宮 城)
K 高橋 明美 (秋 田)
D 佐藤 諒 (宮 城)

各学科の新しい動き

工学部 知能エレクトロニクス学科

新入生 オリエンテーションの報告

からしま あきひろ
辛島 彰洋 講師

知能エレクトロニクス学科では106名の新入生を迎え、4月7日(木)～8日(金)に1泊2日で学外オリエンテーションを行いました。一日目には、新入生は4～5人のグループに分かれて、30年後の未来技術に関するポスターを制作するというグループワークに取り組みました。新入生間で活発に議論・交流ができました。二日目には、今年度から本学科に加わった葛西重信教授による講演や東北歴史博物館の見学が行われました。新たな友人を得ることができて、新入生にとって有意義なオリエンテーションになったことと思います。



グループワークでポスターを制作する新入生

工学部 建築学科

51年目へ向けての Reスタート

いしい さとし
石井 敏 学科長・教授

①新入生148名は、上級学年の学生サポートのもと、新しい仲間とともに街歩きワークショップを行い、2週間かけてまとめの作業を行いました。成果発表会には多数の保護者も参観に来てくださいました。②中村琢巳講師が着任されました。日本建築史が専門で、木造建築の歴史や職人技法に着目した生産技術史を研究テーマとしています。③今年(2016年)、建築学科は50周年を迎えました。50年の伝統を継承しつつ、新しい時代の建築学の追究と建築教育の充実を目指してのReスタートです。地域・社会、在学生、卒業生、そして企業とのつながり深め、固める一年とします。



1年生ワークショップを終えての集合写真

工学部 環境エネルギー学科

減風・発電風車の実用化 を目指した研究進行中

さいとう てるみ
齋藤 輝文 教授

本学科の野澤壽一助教は、減風・発電風車の実用化研究に取り組んでおり、その活動が以前テレビ(TBS「夢の扉」、BSフジテレビ「革新のイズム」)でも取り上げられ、注目されています。大津波により防風林が失われ、強風に悩まされる事例など、防風のニーズは高いにも関わらず、即効で満足な効果のある対策はない状況でした。開発中の風車は、風圧を約100分の1まで減らすうえに発電もできる特徴を持っています。現在、鉄道関係施設への導入の可能性について、既存の防風フェンスとの比較実験など、JR東日本防災研究所と共同研究を進めています。



減風・発電風車の大型風洞実験

工学部 情報通信工学科

新任教員の着任

つのだ ひろし
角田 裕 准教授

情報通信工学科は、長年にわたる学科教育と運営にご尽力いただいた上杉直教授が学科を離れられた一方で、4月から環境エネルギー学科より、佐藤篤准教授をお迎えし新体制となりました。佐藤篤准教授は本学科の前身である通信工学科を卒業後、大学院通信工学専攻に進まれ、1999年に博士号を取得されています。この度、16年ぶりに戻って来られた出身学科にて教鞭をとられることになりました。ご専門はレーザー工学で、レーザーレーダーを利用した環境情報リモートセンシングに必要なレーザー送信機についての研究を進められる予定です。



学生に実験手順を説明する佐藤篤准教授

工学部 都市マネジメント学科

まち歩きをして 仙台の魅力をもっと知ろう

きくち あきら
菊池 輝 教授

都市マネジメント学科には83名の新入生が入学しました。少しでも早く新しい友人関係を築き、大学生活に順応してもらうために、学科独自のCE進路セミナーにおいて、地下鉄東西線沿線の都市研究を行いました。新入生が8班に分かれて、2年生以上の先輩のアドバイスを受けながら、東西線沿線の都市施設やまちの魅力資源をインターネットやさまざまな資料をもとに下調べをし、そして実際にまち歩きをしながら、まちづくりの現況や課題を認識する企画です。普段何気なく見過ごしている風景も、新入生はさまざまな視点で観察したようです。



いざ、まち歩きへ！

ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科

新しいカリキュラム

しのはら りょうた
篠原 良太 教授

平成29年度に向けてよりよいデザインの学びを構築するために、新しいカリキュラムの策定に学科をあげて取り組んでいます。具体的には入学時よりデザインのベースとなるアイデアの発想法とデジタル表現技術を幅広く学び、2年次後期から7つの分野(グラフィックデザイン/イラストレーション/WEBデザイン/映像/アプリケーション/プロダクトデザイン/工芸)を複合・横断的に自由に選択できるカリキュラムとなります。ご期待ください。



制作中のオープンキャンパス用カリキュラム説明アイテム

ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科

新任教員を迎えて新入生 オリエンテーション

なか い しゅうさく
中井 周作 講師

本学科の新任教員として、住まいの環境に関わる分野に高木理恵准教授が着任されました。28年度は9研究室で教育・研究に臨みます。新入生にはキャンパス施設を知ってもらうために、4月7日（木）に教員と一緒に「見て歩き」を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、見て歩き、これからの学生生活に夢を抱いてもらえたと感じています。また、1年生72名には一人ずつ自己紹介をしてもらい、趣味や特技などの個性を発見しあい交流が深まりました。

教職員の自己紹介では、教職員間でも知らなかった趣味が判明するなど、和気あいあいとしたスタートとなりました。



長町キャンパス見て歩き

ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科

経営コミュニケーション 学科 2年生の企業訪問

さとう なつこ
佐藤 夏子 准教授

本学科では毎年2年生がセミナーの一環で企業訪問をしています。この訪問は卒業後の進路について学生が真剣に考えるきっかけとなっています。28年6月7日（火）に2年生全員が仙台市内の7つの会社を教員とともに訪問しました。今年度初めて訪問した出版社では、取締役と営業の方から業務全体についての説明を、編集者からは雑誌ができるまでの行程の説明を聞き、社屋の見学をしました。仕事の内容だけでなく、会社の雰囲気を知ることができました。学生はインターンシップや就職活動が楽しみになったと話していました。



プレスアート社で熱心に話を聴く学生たち

共通教育センター

共通教育センター・ 課外セミナーへ ようこそ

うめだ けんたろう
梅田 健太郎 共通教育センター長・教授

共通教育センターでは、数学、英語の資格試験に向けた合格支援セミナー、英会話の上達を目指す英会話サロン、数学・化学・物理の自然科学で興味のある分野をさらに勉強したい人を対象にしたサイエンスセミナーを実施、計画しています。学部・学科を超えた仲間が集まり、普段みなさんと授業以外にあまり話す機会がないセンター教員と一緒に学ぶセミナーです。仲間同士、教員と気軽に議論しながら知的興奮を得るだけでなく、人との楽しいつながりを築く絶好の機会です。共通教育センター・課外セミナーに参加してみませんか。



英会話サロン

教職課程センター

教育実習が はじまりました

おがわ かずひさ
小川 和久 副センター長・教授

教職課程履修の4年生20名が、教育実習の準備のために、指導案づくりや教材研究に励んでいます。すでに実習がはじまって、学校現場で奮闘している学生もいます。教育実習は、これまで教職課程で学んだことの集大成となる一大イベントです。実際に高校生を前にして、授業進行がうまくできるのだろうか、学生たちの気持ちは不安材料でいっぱいです。でも、これまでの先輩たちと同様、きつと苦難を乗り越えて、教員としての職務の厳しさ、責任、そして喜びを実体験し、一回り大きく成長してくれるものと期待しています。



新装になった教職ゼミ室での模擬授業

新任教職員

(2016年4月1日付)

工学部

都市マネジメント学科 教授



すとう あつし
須藤 敦史

確率や統計を用いて社会資本におけるマネジメントや維持管理の研究を行っています。

教職課程センター 教授



わたなべ ゆきお
渡邊 幸雄

教職科目を担当します。教員を目指す人をはじめ、社会を知る支援をしています。

建築学科 講師



なかむら たくみ
中村 琢巳

日本建築史が専門です。フィールドワークを通して、東北の建築文化を学びましょう。

都市マネジメント学科 講師



とまり なおゆき
泊 尚志

社会基盤と交通の計画と政策に関する研究を通じて、公共の福祉を探求しています。

ライフデザイン学部

学長室

大学事務職員

安全安心生活デザイン学科 准教授



たかき りえ
高木 理恵

実測や調査を通して、安全で快適な室内環境のデザイン手法の確立を目指します。

学長室員（修学支援）



さいとう あきら
齋藤 章

工大生の皆さんと分かる楽しさを通して、学びを深めていきたいと思っています。

情報サービスセンター 事務長



はんざわ かつゆき
半澤 勝之

学生と教職員の皆さまに、使いやすい情報システムを提供できるよう取り組みます。

入試広報課 事務職員



にこう ゆうすけ
二郷 雄介

一日も早く認められるように、主体性を持って努力していきたいと思っています。

地域連携センター 事務職員



すがわら れい
菅原 玲

「初心を忘れずいつも前向きに」を心がけて、日々を充実させて行きたいと思っています。

就職サポート体制と先輩からのアドバイス

就職内定を得るために頑張る学生の皆さんをバックアップする取り組みや、就職支援スケジュールを紹介します。
また、就職活動中の学生や企業の現場で活躍する卒業生から、メッセージやアドバイスをいただきました。

就職委員会より

就職活動の中盤戦を迎える今、ぜひ相談を！



ちば のりゆき
千葉 則行

就職委員長
都市マネジメント学科 教授

2016年の春に卒業した本学生の就職率は、過去最高だったリーマン・ショック前の2008年春に次ぐ高水準でした。この傾向は28年度の就職活動にも現れており、企業側の採用意欲も依然強く、学生諸君にとっては絶好の機会だと言えます。しかし、経団連（日本経済団体連合会）加盟企業は選考開始を6月に変更したこと、また多くの企業は依然として「厳選採用」の姿勢を崩していないことを念頭に置き、学生諸君にはしっかりとした気構えで就職活動に臨んでほしいと思います。

選考開始から2か月経って中盤戦を迎える今、就職活動中あるいはこれから活動する学生諸君は、再度指導教員、学科就職委員、キャリアサポート職員、アドバイザーに相談し、そして採用選考で重視される面接対策としての模擬面接も行ってもらうようにしてください。本学は全学挙げて学生諸君を応援しています。

今後の就職支援スケジュール

開催月	内容	対象
8月	インターンシップ実施	全学年
	民間就職試験対策講座（夏期） （4日（木）・5日（金）・6日（土））	2年・3年・M1
9月	インターンシップ実施	全学年
	就職ガイダンス （後期オリエンテーション時 20日（火））	全学年
	公務員教養試験対策講座 （9月24日（土）～12月3日（土））	1年・2年・3年・M1
	個別面談（各学科）	3年
	就活支援講座	3年・M1
10月	学内合同企業説明会	4年・M2
	インターンシップ報告会	全学年
	就活支援講座	3年・M1
	自己分析・エントリーシート対策講座 （1日（土）・22日（土））	3年・M1
11月	ヘア・メイク講座	全学年
	就活支援講座	3年・M1
12月	模擬面接	3年・M1
	就活支援講座	3年・M1
1月	進路登録票提出	3年・M1
2月	民間就職試験対策講座（春期） （6日（月）・7日（火）・8日（水））	2年
	キャリアトレ（9日（木）・10日（金））	1年・2年・3年・M1
	公務員模試（12日（日））	
3月	合同企業説明会・企業懇談会 （2日（木）・3日（金））	3年・M1

就職活動なんでも相談

キャリアトレ：キャリアトレーニング 就職対策合宿研修

就活：就職活動

M1：大学院 博士（前期）課程1年

M2：大学院 博士（前期）課程2年

相談窓口紹介

キャリアサポート課および長町キャンパス事務室では、学生の皆さんが就職活動を行えるよう万全の体制で、サポートに取り組んでいます。就職活動をするにあたって、疑問や悩み・不安を抱いたらお気軽にご相談ください。

また、昨今の就職環境の変化に対応するため、学外からも専門のアドバイザーを招き「なんでも相談」を開設して学生の就職活動に関するあらゆる相談に応じています。利用するには事前予約が必要となりますので、キャリアサポート課または長町キャンパス事務室にお越しください。



八木山キャンパス



長町キャンパス

就職活動奮戦記



就職活動で学んだこと

みやた まるき 宮田 丸希 | 都市マネジメント学科 4年

私は、インターンシップに参加したことをきっかけに、就職活動を開始しました。

インターンシップに参加した理由は「橋の建設に携わりたい」という漠然とした思いだけでしたが、会社の方から話を伺ったり、実際の建設現場を案内していただき、橋の知識を大学で習うこと以上に得ることができたことです。インターンシップに参加する前は、自分の無知のために迷惑をかけることも心配しましたが、質問にも丁寧に答えてくださったことが印象的でした。

皆さんも不安はあるかと思いますが、物怖じせず一歩を踏み出すことが大事です。



周りの意見を大切にしたら就職活動

なりた こうゆう 成田 孝友 | 環境エネルギー学科 4年

28年度の就職活動は、前年度は、8月スタートだった選考活動が6月へ前倒しになり、選考までの準備期間が短くなったことから短期決戦と言われています。そのため企業研究をする時間や業界研究をする時間が少なくなりました。私は講義がない日も大学に登校し、先輩方が書いてくれた企業の参考資料やキャリアサポート課を積極的に利用し、志望企業の情報や志望動機の記事構成などのアドバイスをもらい就職活動に活かしています。その成果もあり、現状の就職活動は順調に進んでおります。選考までの期間が短いですが、焦らないことが大切だと思います。

卒業生の声



壁を乗り越え成長していく

くまた さとき 熊田 郷希 | 株式会社TTK 平成26年度 情報通信工学科卒業

私が就職活動で一番参考にしたのは、実際に働いている先輩からの声でした。先輩から直接話を聞くことで、就職することになり不安がなくなりました。私が就職した際、希望の部署へ行くことができませんでした。初めはとても落ち込みましたが、上司や同期から励ましの言葉を多くいただき、今では、その部署に欠かせないと言われるほどになり、本当に良かったと思います。就職すると自分の思うように行かないことは、たくさんあります。しかし、その試練をいかに乗り越えて行くかだと思います。私はそのお陰で壁を超えて成長し、自分の新たな可能性を見出すことができました。



応える喜び

おかざき まゆ 岡崎 真由 | (株)北洲 ハウジング事業部 福島支店 福島営業所 グットエイジングサポート課 平成25年度 安全安心生活デザイン学科卒業

私はハウスメーカーでアフターメンテナンスに携わっています。ハウスメーカーというと、営業職や設計職のイメージが強いと思いますが、私は建物のお引渡し後、実際の生活がはじまってからお客様がその家で生活を終えるまで関わる仕事をしています。内容は保守・点検や、規模の大きなリフォームまで幅広く、お客様と長く関係性を築きご満足いただくことを目標としています。弊社の建物で豊かに楽しく過ごすためのお手伝いができる喜びは、どの職種よりも強く、やりがいを感じながら日々過ごしています。

平成 28 年度東北工業大学奨学生・成績優秀者賞受賞学生

平成 28 年度東北工業大学奨学生ならびに成績優秀者が選考されました。選ばれた皆さんのさらなる活躍を期待しています。

■東北工業大学奨学生

特別奨学生（8名） 当該年度の授業料が免除されます。

工学部					ライフデザイン学部		
知能エレクトロニクス学科 2 年 菊池 遼太郎	情報通信工学科 2 年 狩野 孝介	建築学科 2 年 後藤 瑛	都市マネジメント学科 4 年 及川 雅希	環境エネルギー学科 4 年 近藤 翼	クリエイティブデザイン学科 2 年 佐藤 美穂	安全安心生活デザイン学科 3 年 今川 可南子	経営コミュニケーション学科 4 年 根元 亨輔

一般奨学生（79名） 当該年度、月額13,000円が給付されます。

学業成績											
工学部（50名）						ライフデザイン学部（22名）					
E		T		A		C		K		CD	
学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名
4	岩佐 琥偉	4	齊藤 寛之	4	木村 太紀	4	菅原 直輝	4	吉田 一貴	4	土田 佳歩
4	菊地 毅	4	高橋 翔太	4	宝福 祥汰	4	高橋 心	4	生出 隼涼	4	星 萌々子
3	石橋 勇人	4	佐竹 晋弥	4	佐藤 大輔	4	藤原 健	4	鈴木 義史	3	荒木 春花
3	岡部 美穂	3	菅 真由子	3	杉山 遥	3	斎藤 慎也	4	林崎 真樹	2	海老名 縄子
3	鈴木 太郎	3	浅沼 真実	3	鈴木 杏南	2	角力山 柊	3	浅沼 光吾	2	佐々木 美律
2	小松 俊徹	3	今野 大輔	3	中澤 直之	2	吉田 紘基	3	真壁 泰樹	2	佐藤 一樹
2	畑中 涼	3	今野 幹也	3	鎌田 匠			3	今野 伸	2	鈴木 望
2	野地 修平	3	銭谷 英李	3	林 瑞紀						
2	森谷 昂	2	園部 将章	2	橋井 美保						
2	渡邊 幹大	2	丹内 愛理沙	2	小林 由佳						
		2	宗像 一樹	2	佐々木 祐輔						
		2	吉田 智	2	佐藤 大樹						
				2	小野寺 麻美						
				2	高橋 凜						
				2	畠山 直人						

課外活動功績（7名）					
学科	学年	氏名	活動内容		
E	3	及川 大輔	東北地区大学準硬式野球春季リーグ戦 二部リーグ首位打者賞 ベストナイン		
A	4	三浦 健太	東北学生アメリカンフットボールリーグ戦 二部リーグ最優秀ティフエンスライン賞		
A	4	高橋 雅人	第 19 回 JIA 東北建築学生賞 最優秀賞		
C	2	大森 健広	建設技術展 2015 橋梁模型製作コンテスト学生部門 審査委員特別賞		

学科	学年	氏名	活動内容		
CD	4	渡邊 未来	JAGDA 学生グランプリ 2015 入選		
SD	3	吉田 洸太	仙台六大学野球春季リーグ戦 ベストナイン		
MC	4	菊地 和成	仙台六大学野球春季リーグ戦 敢闘賞		

東北工業大学大学院奨学生（5名） 当該年度、月額20,000円が給付されます。

電子工学専攻	通信工学専攻	建築学専攻	環境情報工学専攻	デザイン工学専攻
博士（前期）課程2年 瀬川 渉	博士（前期）課程2年 渡邊 琢磨	博士（前期）課程2年 子玉 慎也	博士（前期）課程2年 日野 慎司	博士（前期）課程2年 平山 雄磨

■成績優秀者賞（97名） 該当する学生に対し表彰式において表彰状の授与を行います。

学業成績											
工学部（58名）						ライフデザイン学部（26名）					
E		T		A		C		K		CD	
学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名
4	阿部 千夏	4	齊藤 寛之	4	木村 太紀	4	池田 拓矢	4	吉田 一貴	4	土田 佳歩
4	岩佐 琥偉	4	高橋 翔太	4	宝福 祥汰	4	及川 雅希	4	生出 隼涼	4	星 萌々子
4	菊地 毅	4	佐竹 晋弥	4	佐藤 大輔	4	菅原 直輝	4	近藤 翼	3	荒木 春花
3	石橋 勇人	3	浅沼 真実	3	杉山 遥	4	高橋 心	4	鈴木 義史	3	海老名 縄子
3	岡部 美穂	3	菅 真由子	3	鈴木 杏南	4	藤原 健	4	林崎 真樹	3	佐々木 美律
3	鈴木 太郎	3	銭谷 英李	3	中澤 直之	4	大竹 司真	3	浅沼 光吾	2	佐藤 一樹
2	菊池 遼太郎	3	今野 大輔	3	鎌田 匠	3	斎藤 慎也	3	今野 伸	2	佐藤 美穂
2	小松 俊徹	3	今野 幹也	3	林 瑞紀	2	角力山 柊	3	真壁 泰樹	2	鈴木 望
2	畑中 涼	2	園部 将章	2	橋井 美保	2	吉田 紘基				
2	野地 修平	2	丹内 愛理沙	2	後藤 瑛						
2	森谷 昂	2	宗像 一樹	2	小林 由佳						
2	渡邊 幹大	2	狩野 孝介	2	佐々木 祐輔						
		2	吉田 智	2	佐藤 大樹						
				2	小野寺 麻美						
				2	高橋 凜						
				2	畠山 直人						

課外活動功績（7名）					
学科	学年	氏名	活動内容		
E	3	及川 大輔	東北地区大学準硬式野球春季リーグ戦 二部リーグ首位打者賞 ベストナイン		
A	4	三浦 健太	東北学生アメリカンフットボールリーグ戦 二部リーグ最優秀ティフエンスライン賞		
A	4	高橋 雅人	第 19 回 JIA 東北建築学生賞 最優秀賞		
C	2	大森 健広	建設技術展 2015 橋梁模型製作コンテスト学生部門 審査委員特別賞		

学科	学年	氏名	活動内容		
CD	4	渡邊 未来	JAGDA 学生グランプリ 2015 入選		
SD	3	吉田 洸太	仙台六大学野球春季リーグ戦 ベストナイン		
MC	4	菊地 和成	仙台六大学野球春季リーグ戦 敢闘賞		

大学院（6名）					
電子工学専攻	通信工学専攻	建築学専攻	環境情報工学専攻	デザイン工学専攻	建築学専攻
博士（前期）課程2年 瀬川 渉	博士（前期）課程2年 渡邊 琢磨	博士（前期）課程2年 子玉 慎也	博士（前期）課程2年 日野 慎司	博士（前期）課程2年 平山 雄磨	博士（後期）課程3年 畑中 友

学科名と略表記／E：知能エレクトロニクス学科／T：情報通信工学科／A：建築学科／C：都市マネジメント学科／
K：環境エネルギー学科／CD：クリエイティブデザイン学科／SD：安全安心生活デザイン学科／MC：経営コミュニケーション学科

□平成28年度 入学式挙行

平成28年度入学式が、4月4日（月）に八木山キャンパス体育館において挙行されました。学部生776名、大学院生（博士（前期）課程）18名の新生と、そのご家族が出席しました。式では、入学生代表として、建築学科の鈴木開流さんとデザイン工学専攻の佐藤諒さんが、それぞれ入学の辞を述べました。



■新入生の内訳

学部	名	大学院[博士(前期)課程]	名
工学部	人数	工学研究科	人数
知能エレクトロニクス学科	105	電子工学専攻	2
情報通信工学科	150	通信工学専攻	2
建築学科	148	建築学専攻	6
都市マネジメント学科	83	土木工学専攻	2
環境エネルギー学科	72	環境情報工学専攻	4
計	558	計	16

ライフデザイン学部	人数	ライフデザイン学研究科	人数
クリエイティブデザイン学科	76	デザイン工学専攻	2
安全安心生活デザイン学科	72	計	2
経営コミュニケーション学科	70		
計	218		

□学友会代表者会議報告

平成28年度学友会代表者会議が、4月28日（木）に開催され、学友会各団体の代表者が参加しました。会議では平成27年度の決算報告ならびに監査報告が行われ、続いて平成28年度予算（案）が審議され承認されました。

■平成28年度 学友会予算

収入の部（単位：円）		支出の部（単位：円）	
科 目	平成28年度予算額	科 目	平成28年度予算額
会 費	19,732,250	クラブ等援助費	15,570,000
学 部 学 生	19,400,000	学科学生会援助費	2,841,000
編入生・転学生	81,250	諸 謝 金	850,000
大 学 院 生	40,000	北科大交流諸費	3,000,000
教 職 員	211,000	事 務 費	300,000
前年度繰越金	6,497,876	旅 費 交 通 費	250,000
雑 収 入	0	印 刷 費	50,000
収 入 合 計	26,230,126	雑 費	100,000
		予 備 費	3,269,126
		支 出 合 計	26,230,126

□平成28年度 東北地区大学体育大会

東北地区大学体育大会は、東北全県を会場に14種目の競技が行なわれ、47大学約6,500名の学生が参加しました。本学からは8種目に選手が出場しており、早い種目では6月に試合がはじまりました。各クラブとも本番に向けて調整を重ね、日頃の練習の成果を十分に発揮できたことと思います。

- 主 催：東北地区大学体育連盟
■主管大学：山形大学
■参 加 者：東北地区大学体育連盟加盟47大学 約6,500名

競技種目	主管大学	開催日
陸上競技(男・女)	山形大学	7月16日(土)～7月17日(日)
水泳(男・女)	秋田大学	6月11日(土)～6月12日(日)
準硬式野球	岩手大学	7月 1日(金)～7月 3日(日)
テニス(男)	岩手大学	8月22日(月)～8月25日(木)
ソフトテニス(男・女)	弘前大学	6月27日(月)～6月30日(木)
バスケットボール(男・女)	東北大学	6月17日(金)～6月19日(日)
バレーボール(男・女)	東北大学	11月 4日(金)～11月 6日(日)
ハンドボール	東北大学	7月16日(土)～7月17日(日)
サッカー	山形大学	6月15日(水)～6月20日(月)
ラグビー	秋田大学	6月11日(土)～6月12日(日)
バドミントン(男・女)	東北大学	7月 2日(土)～7月 3日(日)
剣道(男・女)	弘前大学	7月10日(日)
弓道(男)	東北大学	6月10日(金)～6月12日(日)
弓道(女)		6月18日(土)～6月19日(日)
空手道(男・女)	福島大学	6月26日(日)

□平成28年度 父母懇談会開催

本学後援会主催による父母懇談会が5月28日（土）の山形会場を皮切りに、8会場で開催されました。

また仙台を除く6県の会場では、後援会県支部総会も開催され、各会場には、大学側から教職員が出席し、本学の近況報告が行われた後、学業成績や学生生活の状況などを中心に教員との個人面談が行われました。

また、仙台の会場として、6月18日（土）に、本学の八木山・長町両キャンパスで懇談会が開催され、今野弘学長、石川善美副学長、渡邊浩文副学長が挨拶ならびに大学の現状および近況などの報告を行い、その後、教員との個人面談が行われました。個人面談の待ち時間には、各学科の担当教員から施設の案内や学生の作品紹介がありました。会場全体では500名の学生の保護者の方にご出席をいただきました。

■平成28年度後援会父母懇談会日程

開催日	開催地	会場
5月28日(土)	山形	山形テルサ
6月 4日(土)	秋田	秋田県JAビル
6月 5日(日)	盛岡	岩手県自治会館
6月 5日(日)	新潟	万代シルバーホテル
6月11日(土)	青森	青森県観光物産館 アスパム
6月11日(土)	福島	杉妻会館
6月18日(土)	仙台	東北工業大学 八木山キャンパス 東北工業大学 長町キャンパス

教室では語られない学生へ向けた先生のホンネを聞きました。

苦勞を買って、
たくましく



しばた けんじ
柴田 憲治

知能エレクトロニクス学科 准教授

「おしゃれ」と研究



いまにし はじめ
今西 肇

都市マネジメント学科 教授

少し勇気をもって
他人と話してみる



もろずみ きよたか
両角 清隆

クリエイティブデザイン学科 教授

学生の皆さんは高い学費を払って大学に通い、苦勞しながら勉強・研究に励んでいます。苦勞を買っていると言えるでしょう。さて、そこで得られるもののうち、どんな状況でも役立つ普遍的なものは何でしょうか。いろいろな意見があると思いますが、私個人の考えでは、それは苦勞して障害を乗り越えた先でしか得られない「自分への自信」ではないかと思っています。今のうちに、さまざまな障害に立ち向かって、それを乗り越える経験を積み重ねてください。それらが社会で逆境を乗り越える力になるはずです。

毎年、3年生の後期になると、卒業研究のために各研究室へ学生が配属されます。都市マネジメント学科では、成績優秀者は希望する研究室に優先的に入れますが、学習熱心でなかった（成績が振るわなかった）学生は抽選になります。今西肇研究室では、成績が優秀な学生が希望してくれるのは嬉しいですが、「おしゃれ」な学生が門をたたいてくれることはもっと嬉しいです。なぜ「おしゃれ」なのかというと、妥協せず研究に取り組むことは、究極の「おしゃれ感覚」を必要とするからです。「おしゃれ」と研究は意外と近いものです。

スーパープレゼンテーション（テレビ番組）で最近見た講演「史上最長の研究が明かす 幸福な人生の秘密」は私自身の感覚に近いものでした。ハーバード大学医学部による75年にわたる研究からわかったのは「いい人間関係が幸せと健康の秘けつだということ」。

学生の皆さんに伝えたいポイントは、なぜこうした人間関係は、築きにくく無視されやすいかを考えること。「人はすぐに手に入れられる、生活を快適にしてくれるものが大好きであり、複雑で込み入っている人間関係を築くことをさけたがる」ということです。友だちや教員との関係をうまく維持していくのは至難の業であることを前提に、少し勇気をもって周りの人と話してみませんか。



研修の合間の学科スポーツ大会での研究室メンバー



留学先でのグループメンバー

今西肇研究室の
メンバーになるための必要条件
「おしゃれ（お洒落）である」こと

今西肇研究室のエリートの4つの条件

- (1) 「個性的」である
- (2) 「表現力」が豊かである
- (3) 「倫理・道徳」についてしっかりと考える
- (4) 前向きに「批判的」である

今西肇語録

「神様の計画書に従い生きる」
「チャンスは平等、結果は不平等」
「管理しない管理が…最高の管理」
「宿命を背負い・運命を切り開き・
天命に耳を傾ける」
「予測することは世界を知ること」
「積分により歴史を探り、
微分により将来を展望する」
「学習は未来を広く豊かにする」

今西肇語録



デザインツアーで「仙台うみの杜水族館」へ



研究室のたこ焼きパーティ

ICBIR* (泰日工業大学 (TNI) で開催) に参加しました

さとう あすか 佐藤 飛鳥 経営コミュニケーション学科 准教授 (国際交流委員会 幹事会 幹事)



本学とTNIは 2年に1度シンポジウムを開催し、教員の研究交流および学生の異文化交流を行っています。今回はTNIにて開催された国際会議に応募し、丸山次人教授、角田裕准教授、クック・サイモン・ダニエル講師、TNIから本学に留学中の大学院生ナバパットさんと私が研究発表を行いました。TNIの先生には、今回も手厚い歓迎を受けました。39℃を越す湿気を含んだ蒸し暑さの外と、クーラーが効きすぎている部屋と調子の悪い部屋とを行ったり来たりしながら幅広い分野の研究発表を聞き、質問をして理解を深めました。共通言語は英語ですが、話者によって単語の最後を発音しなかったり、文章のイントネーションの抑揚の波がかなり違ったりして国際学会らしさにあふれていました。パーティーでは団長の石川善美副学長(国際交流委員会委員長)が挨拶し、スタッフへの感謝と2校の協定の歴史を紹介して、さらなる関係の深化を約束しました。

*International Conference on Business and Industrial Research



ICBIR オープニング挨拶

今年も泰日工業大学(タイ・バンコク)から留学生を迎えました

泰日工業大学との学術交流協定により、4月19日(火)から6月17日(金)までおよそ2か月間の日程で同大学情報学部マルチメディア学科2年生1名、経営学部日本語経営学科2年生1名の短期留学生2名を迎えました。本学の情報通信工学科村岡一信研究室で「C言語によるコンピュータグラフィックスのプログラミング」・経営コミュニケーション学科宮曾根美香研究室で「異文化コミュニケーションおよび言語コミュニケーション」を学びました。

とても楽しかった初めての留学体験

Yada Kongniratsaiyakun (ヤーダー・コンニラツサイヤクン)

情報通信工学科(村岡一信研究室)
(泰日工業大学 情報学部マルチメディア学科2年)

私はヤーダーと申します。タイの泰日工業大学の情報学部の学生です。2か月間、情報通信工学科に留学してCGなどを学びました。CGの勉強は初めてだったので、最初はちょっと緊張しましたが、先生がゆっくり説明してくれて、分からない時は、研究室の学生さんに教えてもらいました。他の授業も皆がいつも手伝ってくれて、安心して受けることができました。

ホームステイ先では、いろいろな日本の文化を学びました。また、仙台のさまざまな場所を案内してくれたり、一緒に活動をしたり、毎日とても楽しかったです。

仙台は自然がたくさんある静かで便利な町だと思います。私にとってここには良い思い出がいっぱいあり、仙台のことがとても好きになりました。

CGの勉強中
(村岡一信研究室の学生さんと)

短期留学を終えて

Thunchanok Chusangsook (タンチャノック チュウサンスック)

経営コミュニケーション学科(宮曾根美香研究室)
(泰日工業大学 経営学部日本語経営学科2年)

私はタンチャノック チュウサンスックと申します。ニックネームはソムオーです。私は3回日本に来たことがありますが、今回初めて短期留学生になりました。東北工業大学には留学生が少ないので、日本人の友だちにはめずらしいと感じることと思い、とても緊張します。私はタイにいる時、日本の経営について勉強していたので、東北工業大学ではライフデザイン学部に入りました。私の担当教員の宮曾根美香先生は本当に優しく、お世話になりました。私にとって、日本語のレクチャーは少し難しいですが、日本の友だちが教えてくれてどんどん分かるようになっていきました。友だちは優しく接してくれたので、うれしかったです。初めて仙台にきましたが、実際は、仙台はそんなに大きな町ではなかったので、勉強するのに最適です。機会があれば、ぜひ戻って来ます。



たこ焼き作りに挑戦

玄奘大学の「日本文化週」に参加して

にのせ ゆり 二瀬 由理 経営コミュニケーション学科 准教授

経営コミュニケーション学科2年の立谷菜都華、門馬晃平、宮曾根教授とともに5月29日(日)から6月1日(水)の日程で、玄奘大学(台湾)の「日本文化週」に参加しました。歓迎会からはじまり、表敬訪問、日本研究の発表、教員の講演などの行事が盛りだくさんで充実した4日間でした。学生2名はキャンパス内の学生寮に宿泊し、玄奘大学の学生とすぐに打ち解けることができました。親切的な玄奘大学の先生方や学生の皆さんのおかげもあり、2人とも台湾、そして異文化コミュニケーションの楽しさを実感することができたようで、目を輝かせ台湾ライフを満喫していました。

*日本文化週: 日本に関する行事や講演などが実施される玄奘大学の大学祭
経営コミュニケーション学科 <https://www.facebook.com/tohtech.mc>

歓迎会での記念写真

地域連携センターだより

■平成27年度実施

「地域・産学連携プロジェクト研究」報告会の開催

第59回Tohtechサロン

会場：一番町ロビー 2階ホール

平成27年度実施した地域連携協定先との共同研究の報告会を5月16日（月）に開催しました。本学と地域連携協定を締結した自治体・団体との共同研究プロジェクト4テーマの研究活動報告を行いました。研究テーマには、「耐震構造」「遺跡調査」「映像」「歴史的建造物保全」と多岐にわたる研究分野となり、映像を駆使した発表や研究者独自で作成したパンフレットなどを配布し、来場者から良い評価を受けました。

また、質疑応答においても来場者から積極的に質問が出され、発表者にとって、今後の研究活動に対する大きな収穫となりました。



石川善美副学長・地域連携センター長の開会挨拶



猿渡学准教授による学生が参画した山形県西川町広報映像制作発表



小山祐司教授の青森県鯉ヶ沢町と連携した史跡調査発表



来場者からスレート保全に関する質問を受ける大沼正寛教授

■平成27年度実施

「実用化試験研究」「実用化開発研究」報告会の開催

第60回・第61回Tohtechサロン

会場：一番町ロビー 2階ホール

平成27年度実施した「実用化試験研究」「実用化開発研究」の報告会を5月23日（月）・25日（水）に開催しました。本学の研究の実用化を目指すための試験研究と研究成果の実用化に向けた開発研究を本学研究シーズとして、学内外へ発信する報告会となりました。

発表内容には、すでに製品化となっているものもあり、その共同研究を行っている企業関係者にも参加をいただきました。一般の方の聴講もあり、製品のPRにもなりました。

また、報告会の終了後には、技術交流する場面もあり、発表をした研究者にとっては、研究展開の刺激になったことと思います。



共同研究商品の製造販売している会社社長による説明



質問者に応答する松田勝敬准教授



成果発表を行う丸山次人教授



地表面変動について説明する今西肇教授

【地域連携協定先との共同研究】

プロジェクトテーマ	学科名	代表者
建物の機能維持を目指した慣性質量付加型制震機構の開発と制震改修への応用	建築学科	船木 尚己
旧陸軍第八師団山田野演習場の建築遺産及び鯉ヶ沢湊の都市景観に関する建築史的調査と研究－青森県西津軽郡鯉ヶ沢町 域学連携事業－	安全安心生活デザイン学科	小山 祐司
映像と雪の実験による「志津温泉・雪旅籠」支援：N-PROJECT	経営コミュニケーション学科	猿渡 学
近代化遺産広域保全ネットワーク「スレート千軒講」の設立	安全安心生活デザイン学科	大沼 正寛

【実用化試験研究】

プロジェクトテーマ	学科名	代表者
紙絵具新規用途開発プロジェクト	経営コミュニケーション学科	佐藤 飛鳥
津波被災地域に新規造成された広葉樹林の防潮堤“千年希望の丘”の生態学的モニタリング	環境エネルギー学科	佐野 哲也
ローカルメディア研究	クリエイティブデザイン学科	両角 清隆

【実用化開発研究】

プロジェクトテーマ	学科名	代表者
緊急連絡時の存在通知に関する研究・開発	情報通信工学科	松田 勝敬
屋根一体型太陽電池による融雪	環境エネルギー学科	齋藤 輝文
DOCODEMO CARE/DOCODEMO CLEAN PROJECT	クリエイティブデザイン学科	坂手 勇次
高齢者用電動スマートカートの開発研究	知能エレクトロニクス学科	丸山 次人
InSAR を用いた地表面変動の観測	都市マネジメント学科	今西 肇

◆あきうクラフトフェア 手ん店tentenの開催協力

いとう みゆき
伊藤 美由紀 安全安心生活デザイン学科 准教授

仙台市太白区秋保町の秋保木の家で4月16日(土)、17日(日)、地元を中心に各地の工芸作家の作品を集めた「あきうクラフトフェア 手ん店」が初めて開催され、運営支援を行いました。陶磁器やガラス、木工品、竹細工、染織品、石製品など50工房と、おはぎや豆腐など地場の食品コーナー10店がロツジ村に出店しました。2日間で3,200名以上の来場者があり、会場は大盛況でした。

また開催直前に熊本地震が発生したため、急遽、義援金箱を設置しました。東日本大震災以降、東北の工芸品普及に支援をいただいている、熊本県伝統工芸館への寄付を学生と教員が協力して呼びかけたところ、来場者や出店者の方から多くの支援をいただくことができました。



無事に開催終了後の集合写真



秋保木の家ロツジ村での出展

◆img@tohtechと猿研による 上映会開催報告

さるわたり まなぶ
猿渡 学 経営コミュニケーション学科 准教授

img@tohtech(東北工業大学イメージワークショップ)と経営コミュニケーション学科猿渡学研究室による合同上映会を、平成28年4月16日(土)にせんだいメディアテーク7階のスタジオシアターで開催しました。映像メディアについての講義・実習で制作した作品、猿渡学研究室の卒業作品(短編映画)やインディーズバンドのMV※が上映され、在仙の映像クリエイター、映画関係者をお招きして貴重なご意見をいただきました。img@tohtechは1年次より映像制作を実践できるワークショップ形式の映像制作集団です。

※MV: ミュージックビデオ



上映会で使用されたパンフレット

◆サイバーセキュリティカレッジの開催

つのだ ひろし
角田 裕 情報通信工学科 准教授

本学科の専門科目「情報リテラシー」の授業の一環として、6月28日(火)にサイバーセキュリティカレッジが開催され、1年生が受講しました。

サイバーセキュリティカレッジは、サイバー犯罪の現状・対策などに関する周知と情報セキュリティに関する知識や意識の向上を目的とした講習会で、サイバー空間の安全確保に向けた取り組みのひとつです。

宮城県警察本部サイバー犯罪対策室より講師をお招きし、SNSの利用に伴う危険性やその実例、近年のサイバー犯罪の事例やその匿名化の手口などについて、わかりやすく解説していただきました。



サイバー犯罪の解説を聴く学生たち

◆一番町ロビーリニューアル オープンセレモニーの開催

一番町ロビーホールを、平成28年4月に4階から2階に移転し、既に各種行事を開催しています。

移転したホールの機能として、COC関連事業と本学同窓会事務局との共同スペースとしての役割も担っています。

今回のリニューアルオープンに当たり、あらためて学内外へ披露することとなり、5月16日(月)18:30から、移転したホールにおいてセレモニーを開催しました。

今野弘学長の挨拶にはじまり、来賓の方が祝辞を述べられ、今後の一番町ロビーの益々の活用への期待のお言葉をいただきました。

ご招待客と本学の関係者は、和やかな歓談のひと時を過ごし、盛況のうちに散会となりました。



今野弘学長による挨拶



セレモニーでの歓談

◆本学「史料センター」開所式セレモニーが開催されました。

本学の歴史を物語る写真と年表を展示する場として、「史料センター」を開館することになりました。開所を記念して、八木山キャンパス附属図書館本館1階において、7月20日(水)11:00~セレモニーが開催されました。

関係者によるテープカットの後、出席者による「史料センター」の内部見学が行われました。

一般公開は、7月23日(土)・24日(日)のオープンキャンパス開催に合わせ行われました。

都市マネジメント学科 **山田 真幸** 准教授

都市マネジメント学科

菊池 輝 教授 **ご紹介**



とにかく「アクティブ」

山田真幸先生をシンプルに言い表すのならば、とにかくアクティブな先生です。高校1年生からはじめた趣味の自転車は、現在6台を所有しており、もはや趣味の域を超えています。学生指導に日々励まれている中で、休日にはサイクリングから競技会まで幅広く自転車生活も満喫されています。また、学生時代にはニュージーランド南島を2週間ほどかけて自転車で周遊した経験もあるそうです。そして、現在の通勤手段は「モベッド」と呼ばれる「原動機が付いた自転車」です。本学の関係者は、そのアヤシイ乗り物を一度は見たことがあるのではないのでしょうか。

そんなアクティブな山田真幸先生は東京都のご出身で、2000年に東京工業大学で博士(工学)を取得し、同年4月より東北大学で勤務、2014年4月に都市マネジメント学科に着任されました。専門は鋼構造であり、鋼とコンクリートとの付着強度などを研究されています。

学生指導も趣味と同様、とにかくアクティブな先生です。



山田真幸准教授の愛車「モベッド」

information

夏休み中の図書館利用について

図書館の8月から9月の開館スケジュールなどは下記のとおりです。

附属図書館	開館時間	休館日
八木山本館	8月3日(水)～9月9日(金) 9:00～17:00	土、日、祝日
長町分館	8月3日(水)～9月9日(金) 9:00～17:00	土、日、祝日

※都合により、記載日以外に休館となる場合があります。

ご来館前に、図書館HPへアクセスいただき図書館開館カレンダーをご覧ください。また、図書館へお問い合わせいただければ、最新の開館予定をご確認いただけます。
※学外利用者の方も、上記時間帯でのご利用となります。

開館スケジュール・貸出等については、下記へお問い合わせください。

■八木山本館／TEL:022-305-3179

■長町分館／TEL:022-304-5508

どうぞお気軽にご利用ください。

topics

icsca (イクスカ) 付学生証の導入

28年度の新入生から、学生証に仙台市交通局で発行しているIC乗車券icsca(イクスカ)の機能を追加しました。icsca付学生証は、本学が県内の大学として初の導入となります。東西線をはじめとする仙台市営地下鉄、仙台市営バス全線で乗り降り自由な「学都仙台市バス・地下鉄フリーパス」の付加や宮城交通・ミヤコーバス、仙台圏のJR線などの運賃支払いにも対応しており、学生証として、利便性が高まりました。



イクスカ学生証 (見本)

工大広報 設置場所

「工大広報」は、本学の情報をお伝えするために、年4回発行しています。学生の皆さんは、学内の下記の場所に、いつでも持ち出して読むことができますように用意してありますので、活用してください。また、「工大広報」は本学のホームページでもご覧になれます。

URL:<http://www.tohtech.ac.jp/kodaikoho/index.html>

- 八木山キャンパス…1号館1階 tohtech LOUNGE / 3号館玄関付近 / 4号館食堂
5号館1階付近 / 10号館1階 tohtech FORUM
- 長町キャンパス…4号館1階学生談話室 / 学生ホール
- 東北工業大学 一番町ロビー

column

もりた けんいち **森田 健一** ウェルネスセンター カウンセラー 准教授

朝起きる方法



前回、「目覚まし時計が鳴った瞬間に起きることが自信を高める」と書きましたが、「それができない」という人も多いでしょうから、朝起きる秘儀を伝授します。

目覚めた瞬間というのは意識が朦朧(もうろう)としています。それはいわば変性意識状態ですのでとても暗示にかかりやすいのです。そこへ朝起きられない人は「もっと寝たい」「寝足りぬ」などと暗示をかけるものですから、当然その通りになってしまう。催眠術のごとく自己暗示にはまっています。

発想を変えましょう。「ああスッキリした!」と目覚めた瞬間に思ってみるのです。何時に寝ていようが関係ありません。起きねばならないのなら、短い睡眠でも「寝て回復した!」と思うのです。すると不思議なことにその自己暗示によってスッキリしたような気になるのです(楽しいな行事がある日はスッキリ目覚めるのはこの原理です)。そして、起きた後にする行為をルーティン化しましょう。私の場合は、「朝が来た!回復した!」と瞬間的に暗示をかけ、アラームを止めに起き上がり、洗面所で口をゆすぎ…などと決めています(シャワーを浴びると強制的にスッキリします)。

もちろん必要な睡眠時間には個人差がありますので、可能な限り確保できるよう計画性をもって夜を過ごすことが大前提です。この季節は日が昇るのも早いです。いつもより少し早く起きて「朝のゆとり」を楽しめば、その日一日、ひいては人生を有意義に過ごせることでしょう。騙されたつもりで4日間だけでもお試しください。

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

〒982-8577
宮城県仙台市太白区八木山香澄町 35-1
東北工業大学 入試広報課
TEL : 022-305-3144
FAX : 022-228-1813
E-mail : kouhou@tohtech.ac.jp